

**幕張新都心モビリティコンソーシアム 第9回総会
議事要旨**

時間： 2026年3月12日(木) 10:00～10:40

場所： オンライン

議題

- (1) 自動運転 PT の進捗報告
- (2) 国家戦略特区制度による規制緩和
- (3) 座長の決定

配布資料

資料1 幕張新都心モビリティコンソーシアム第9回総会資料

議事内容 () は発言者

1. 開会

2. 議題

- (1) 自動運転 PT の進捗報告
 - ティアフォー様より資料に沿って説明。
 - バス運転手不足による路線バス縮小対策として、既存バス路線を自動運転バスに置き換えるため、千葉市緑区あすみが丘地区の自動運転レベル4導入に向けて2026年2月26日から3月4日の7日間で実証実験を実施。
 - 主に路上駐車が原因による手動介入が多く、全体を通して84.3%の自動運転自動走行率となり、完全自動運転に向けて改善余地が残されている。
 - また、一般試乗では399名のうち、167名の方に試乗後アンケートにご協力いただき、自動運転バスの試乗体験のほか、日常的なバス利用状況や有償走行に関する意向確認を実施した。その結果、自動運転に対する不安はわずかにあるものの全年代で自動運転に対する受容性が高いことがわかった。その他いただいた意見等含め、今後の実証等につなげていく。

【質疑応答】

- 質問なし。
- (2) 国家戦略特区制度による規制緩和
 - 千葉市より資料に沿って説明。
 - 千葉市は国家戦略特区に指定されており、世界で1番ビジネスをしやすい環

境を作ることを目的に、既存の規制を緩和し新たなビジネス・事業展開につなげていくことが可能となっている。

- 過去にも様々な規制緩和提案等を行っており、2025年7月2日より、国家戦略特区が千葉県全域に広がったことから、より広域での規制緩和の活用も可能となったため、ぜひ積極的な本制度の活用をお願いしたい。

【質疑応答】

(質問：千葉共同印刷様)

- 企業は機密性の観点から他社と情報共有しに行くことが多い。そのため、国家戦略特区推進課のような横断的な行政組織が、行政側の課題や必要な技術を整理してコンソーシアムに提示する形の方が、新たな連携や取組が生まれやすいのではないか。
- 企業が情報公開に慎重になる点は理解している。総会での提案募集は企業間の連携や新たなビジネス創出のきっかけを目的としていた。今後は行政内部のニーズや課題を把握し、コンソーシアムと連携できる案件があれば共有することを検討したい。

(3) 座長の決定

- 千葉市より、来期の座長は今期と同様、東洋大学国際学部国際地域学科の岡村敏之教授に2027年3月31日までの任期で再任することを提案。
- 賛成多数で可決

3. 連絡事項

- 事務局より、以下の点を説明。
- 本日の資料及び議事要旨の千葉市ホームページへの公表について説明。
- 2026年度総会開催時期について、6月ごろに中間まとめ報告会を、来年3月に第10回総会を開催する旨説明。
- 次年度のコンソーシアムへの参加意向について近日中に行う旨説明。

4. 閉会

以上